

特集1

人材ビジネス事業者も共有したい

アフターコロナを見据えた 外国人雇用の 在り方とその対応策

厚労省「外国人雇用対策の在り方に関する検討会中間取りまとめ」
で示された注目論点とは？

6月28日、厚労省「外国人雇用対策の在り方に関する検討会」は、その「中間取りまとめ」を発表した。「エビデンスに基づく外国人雇用対策の立案と官民が連携した分野横断的な支援に向けて」との副題が付けられた報告書には、約半年間の検討結果として、「外国人雇用対策の在り方と方向性」（総論）と「各課題とその対応に関する方向性」（各論）が示された。本特集では、「中間取りまとめ」で示されたこれらの論点の中から、特にその10日ほど前に開催された「第6回外国人雇用対策の在り方に関する検討会（オンライン会議）」で各委員が指摘したポイントなどを踏まえ、アフターコロナ後に急拡大が予想される国内の外国人雇用を見据えた、外国人雇用支援に関わる人材ビジネス事業者等が今、共有しておきたいキーワードと好事例を整理してみた。

（伊藤秀範）

写真：時事

注目論点とキーワード

外国人労働者の**包摂**の状況と国際的な労働移動の適切な把握

エビデンスに基づいた外国人雇用対策を講じる

関係機関が得意とする分野、を生かした連携

日本と母国の**文化ギャップの克服**

外国人労働者の
長期キャリアを前提とした就労環境の整備

外国人雇用対策は、
日本の労働市場の質を向上させるという積極的な視点

